国産間伐材によるノベルティグッズで被災地復興を支援

宮城県南三陸町の中学校廃校舎を利用した
フロンティアジャパン南三陸工場

森林保全に関心のある企業とともに被災地の森林づくりに取り組みたいと語る環境事業部の末吉孝行さん。

フォレスト
サポーターズ

美しい森林づくり推進国民運動

フロンティアジャパン株式会社

森をささえよう

森と暮らそう

「フロンティアジャパン株式会社」は、国産間伐材を有効活用し、企業向けの宣伝用グッズ(ノベルティグッズ)の企画・製造・販売を行っている企業。国産間伐材にこだわった事業コンセプトと、フォレスト・サポーターズの4つアクションが同じ方向性を持っていたため、森林保全等の取組をより深めることを目的に、平成22年6月にフォレスト・サポーターズに登録しました。

国産間伐材による様々なノベルティグッズを企業の販売促進に役立て、企業と森林を結ぶパイプ役をつとめているほか、今年3月には昨年の東日本大震災によって大きな被害を受けた宮城県南三陸町に工場を設立し、森林保全と被災地の雇用促進を目指した取組を進めている環境事業部の末吉孝行さんにお話をうかがいました。

「フロンティアジャパン株式会社」は、もともと物流が本業でした。ノベルティグッズに取り組んだのは、10数年前、物づくりに対する関心の高まりに伴う新事業立ち上げに際して、高知県の間伐材と出会ったことがきっかけです。これからの企業ノベルティグッズには、社会貢献と企業の利益の両立という「新しい価値」の提案が必要だと考え、それまでグッズ製作も間伐材利用も全く関わりがありませんでしたが、社員全員で勉強して取組を始めました。

都市部に暮らす人々の生活を支えているのは、日本の国土の約70%を占める豊かな森林の恵みです。フロンティアジャパン株式会社は、森林保全のために重要なことのひとつは「間伐」であるという考えに立ち、間伐材を利用したノベルティグッズを「ジャパン・ブランド」として位置づけ、社会・環境問題の解決と企業の競争力向上を両立したグッズ提案を行っています。地域をつなぐ物流部門を持つ強みや、これまでに培った豊富なノベルティ製作実績を生かし、単なる木製グッズの提案ではなく、国産間伐材の利用拡大や「企業の森」の木材の活用などによる森林保全を通して、社会と共有できる価値の創出につながる事業提案を行い、企業と森林をつなぐパイプ役になりたいと考えています。

また、今年3月には東日本大震災による被災地・宮城県南三陸町に工場を設立しました。これは震災後、企業の側から被災地の木材を使ったノベルティグッズを製作

■フロンティアジャパン南三陸工場ホームページ　http://www.minamisanriku.eco-pro.ne.jp/

復興アクション

森のチカラで、日本を元気に。

国際森林年国内委員会は、昨年10月、「森のチカラで、日本を元気に。」のメッセージとともに、森づくり・木づかい・人づくり・東北復興の4つのテーマで国民一人一人が具体的に行動するよう呼びかけました。下記のサイトでは、東北復興への参加の呼びかけを行っています。

復興アクション「森のチカラで、日本を元気に。」ホームページ
http://mori-zukuri.jp/tohoku/

「復興アクション」チャリティグッズ（ピンバッジ＆ブックマーク）

「葉っぱのフレディ」オリジナル・チャリティグッズ

国産間伐材を使用したノベルティグッズの数々

フォレスト・サポーターズ

4つのアクション活動紹介

南三陸工場では、製品の加工からパッケージング、発送用の梱包までが行われています。

製造するグッズの材料には、宮城県南三陸町と岩手県釜石市の杉間伐材を中心に国産間伐材を使用。

今日からやろう！森のための

4つのアクション

森にふれよう

木をつかおう

し、復興の一助としたいという要望があったことがきっかけです。しかし、木材を使用するだけでは部分的な支援にしかなりません。

震災から1年余りが過ぎましたが、被災地の復興はまだ始まったばかりです。被災地が活気づくためには雇用の創出が必要だという考えから、ご縁のあった南三陸町にある中学校の廃校舎2階部分を利用し、「フロンティアジャパン南三陸工場」を立ち上げました。立ち上げにあたっては、弊社の額賀泰尾（ぬかがやすお）代表自ら南三陸町に移住して陣頭指揮にあたり、板材にレーザー光線をあて、自由に彫刻やカットを施すことのできる加工機を導入しました。ノベルティグッズ製作の上で必要となる木材の調達・加工・製品のパッケージング・梱包といった工程全てを南三陸町で行えるよう整備を行いました。各業務工程において必要となる人員は全て現地の方を採用しています。男性1人を製造担当の正社員として採用したほか、仮設住宅に住む近隣の主婦など約25人をパートタイム雇用しています。原料となる木材の調達についても、被災地の間伐材だけにとどまらず、津波によって流された倒木の有効利用も進めていきたいと考えています。

南三陸町工場で製作しているノベルティグッズを利用することで被災地の雇用拡大に貢献することができると、企業の方からもご好評を頂いており、将来的には地元資源による木材加工産業を発展させて「南三陸ブランド」とすることも視野に入れています。

今後は南三陸町でのビジネスモデルを被災県の各地に展開させていくとともに、企業とのコラボレーションによって、震災被害で失われてしまった町のバス停を被災地の木材で再建するといったインフラ整備にも取り組んでいければと考えています。雪の降る前に屋根のあるバス停を作ることができたら…そんな夢が地元と企業を結びつけることで実現することを願っています。

また、（公社）国土緑化推進機構等が推進する『森のチカラで、日本を元気に』復興アクションに賛同して、ピンバッチを製作しています。

このピンバッチは、緑の募金に寄付して頂いた方に、これまで約2万個配布され、森や木を活かした復興支援に貢献しています。

今後も、同復興アクションと連携して、被災地復興に取り組んでいきたいと考えています。

■フロンティアジャパン株式会社ホームページ　http://www.eco-pro.ne.jp/